

教育・保育事業等の「量の見込み(暫定値)」一覧表

No.	事業名	対象者	単位(人)	年度					本市の「量の見込み(暫定値)」の考え方	「量の見込み(暫定値)」の取扱いについて□	
				H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
教育・保育施設および地域型保育事業	1	1号認定子ども	3-5歳	「量の見込み」(暫定値)	6,448	6,350	6,302	6,283	6,036	幼稚園の利用が見込まれる子どものうち、保護者の就労率については、本市が実施した「幼稚園における保護者の就労状況等調査」の結果を勘案して算出する。 国の手引きにより算出した値のうち、平成27年度の値が平成25年度の実績値(保育所利用者数)に近い値となっており、これまで保育所利用者数は増加してきたが、平成27年度以降は3~5歳の推計児童人口は減少すると見込まれることから、国の手引きにより算出した値を本市における「量の見込み」とする。 国の手引きにおける留意事項により、0歳からの利用希望者のうち、やむなく0歳から利用を希望する希望者数を勘案し、算出する。(3号認定の0歳から除算⇒1・2歳に加算)	今回検討する教育・保育事業の「量の見込み」は、現在の教育・保育の利用状況及びニーズ調査による子育て世帯の将来的な利用希望を勘案した上で、 暫定的に整理したもの であり、「支援事業計画」の策定において、 教育・保育の提供区域等を踏まえて今回の暫定値を精査し、計画に位置づける正式な「量の見込み」を確保方策とともに決定していく。 □
	2-1	2号認定子ども(幼児期の学校教育を利用希望)	3-5歳	「量の見込み」(暫定値)	3,351	3,300	3,275	3,265	3,138		
	2-2	2号認定子ども	3-5歳	「量の見込み」(暫定値)	4,430	4,363	4,331	4,317	4,148		
	3-1	3号認定子ども	0歳	「量の見込み」(暫定値)	1,198	1,128	1,073	1,034	1,007		
	3-2	3号認定子ども	1・2歳	「量の見込み」(暫定値)	4,817	4,627	4,392	4,103	4,014		

